



いちいの会 だより

令和元年
51号

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com/>

ICHIINOKAI VOL. 51



藤子不二雄ミュージアムにて

社会福祉法人いちいの会 くすのき苑 副施設長 戸辺 泰介

利用者の方に提供する支援の品質の維持・向上のためには優秀な職員の確保が前提です。そのために、新卒者、中途採用者共に、積極的に求人活動を続けていますが、ここ数年、厳しさを感じています。

厚生労働省の発表では、全産業における昨年の平均有効求人倍率は1.6倍でした。比較して我々知的障害者対象の福祉サービスの分野では、福祉人材センターバンク独自の統計になりますが、2.0倍前後という数字が示されていました。社会全体が人手不足のなか、さらに人手不足の業界ということになります。また、新卒者が選択した就業先の割合ですが、文部科学省の平成30年度の統計によると医療・福祉分野が436,156例中55,320例で全体の約12%となります。悪くない数字に思えますが、内訳としては老人介護や児童福祉の分野がほとんどで、知的障害者分野が占める割合は非常に小さいようです。その他の情報や求人かけた際の反応から推測すると、全分野の1%程度では、と実感も交えつつ捉えています。採用にあたって「選考」という言葉を使いますが、この売り手が強い市場なかでは、我々事業者側が求職者から選ばれる立場だということを、強く認識せざるをえません。内定辞退に怯えて過ごす毎日です。

しかし、裏返して考えると、上記のような世相の中、あえてこの業種を志望される方は、非常に意識が高いといえます。実際に近年、当法人で採用した職員達に話を聞くと、新卒・中途採用を問わず「やりがいがある」「仕事は楽しい」という答えが返ってきます。彼らが熱意を保って働き続けられるためにも、今後も職員採用に力を入れ、労働環境の充実を図っていかねばと改めて感じています。



- 目次●
- ◇副施設長…………… 1
- ◇作業班だより…………… 2
- ◇事業所だより…………… 3
- ◇旅行いろいろ…………… 4
- ◇行事いろいろ
職員日記…………… 5
- ◇新任職員紹介
南門販売会
そうめん大会
行事報告
編集後記…………… 6

作業班だより

ビリーブ班

生活支援員 柳瀬 栞

私たちビリーブ班は、和紙製品やメルトビーズ、シュシュ等の製品作り、1人1人の体力に合わせた運動(外散歩、廊下歩行)、各自の身体機能を維持するためのリハビリの3つの活動を主に行っています。今回は、その中でもリハビリについてご紹介します！

ビリーブ班に所属している利用者の中には、高齢の方や身体障害のある方、身体機能の低下が気になる方が多くいます。ビリーブ班では、月に1回理学療法士の先生に来て頂き、利用者の状態を見てリハビリのアドバイスを頂いたり、リハビリメニューの作成を行っています。また、利用者の気になる様子がある場合は先生に相談し、新しいリハビリメニューを作ってもらいます。利用者の変化や状態から、1人1人に合わせたリハビリを行っています。

さて、そんなリハビリですが、リハビリをする上で重要になってくるのは雰囲気作りです。効果的なリハビリを行うには利用者の協力が不可欠です。リハビリ中は利用者と一緒に会話をしたり、音楽を流したり、ペットボトルやタオル等利用者が好きなものを用意して、利用者が「リハビリって楽しい!」「リハビリやりたい!」と積極的にリハビリに取り組めるような雰囲気作りをしています。

リハビリをすることで現在の状態がすぐに改善されるわけではありませんが、この先10年、20年、30年…とずっと丈夫な身体で過ごせるよう、利用者も職員も毎日一生懸命取り組んでいます。



ステップ班

主任生活支援員 内山 裕史

主に自閉傾向のある方を中心に構成されたステップ班。年齢層は20代～40代が中心とまだまだ若いです。その中でも「リサイクル班」「受注班」「課題班」の3つの班に分かれて活動しています。

リサイクル班は近隣のお店や利用者さんのご家族、職員の家庭から出た空き缶・ペットボトル・空き瓶の仕分けをしています。工程として、中身を洗ったりブルタブを取ったりつぶしたりして、業者さんに引き取ってもらっています。

受注班はゴム製品を中心に内職の作業を1時間以上集中して活動しています。繁忙期や閑散期がありますが、毎回納品という名のドライブでそれぞれの業者さんに会うのを楽しみにしながら頑張っています。

課題班では自立課題と呼ばれる、職員手作りのパズルや組立て作業を行っています。個々のアセスメントを取っているので、各々で活動は違ってきます。後半は散歩をして活動のメリハリをつけて生活しています。より障がい特性の重い方が中心ですが、細かなルールをきっちりと守りながら活動する事で、普段の賑やかさが嘘のように静かに活動しています。

今後も利用者さんの変化に合わせた活動を提供し、一人一人の利用者さんに寄り添い、変化に合った柔軟な対応をしていきたいと思っています。





グループホームがえて

生活支援員 中山 明日美



6月29日、ほっていんぐが主催するGHのボウリング大会に参加しました。

それぞれのチームに分かれ、皆大盛り上がり！皆さん投げ方にもそれぞれ個性があり、両手で投げる人もいればスタンダートに片手投げでストライクを取る人、そしてある利用者はキッズレーンを利用してジグザグ投げをしていました。「そんな投げ方初めてみた！」と他の利用者がびっくりしているのもつゆ知らず、本人は何とジグザグ投法でスペアを出してありました。（すごい！）皆ほかんとしておりまし

たが、投げた本人が一番ほかんとしていて、とても面白かったです。

他にGH合同の会というものもあり、利用者さんも他のホームの方と楽しくお話ししてありました。「久しぶり」と声をかける方もいれば「初めまして。どこから来たんですか？」と自己紹介をしたり。普段は同じホーム内の利用者としかお話ししないので良い体験になったかと思います。次回もありましたらまた参加したいと思います！



ワークショップくすのき

生活支援員 齋藤 貴子



WSでは、事前に何をしたいか聞き取り、スポッチャ組とカラオケ組の2グループに分かれて昼食外出に出かけました。

スポッチャ組は、球技が得意な人が多く、卓球ではラリーが続き、バスケではゴールを決める人が何人もいました。バッシングは難しかったのですが、一番遅い球を打つ事が出来ました。普段WSでは見られないスポーツ万能な姿を見ることが出来、利用者の新たな一面を知ることが出来ました。

スポッチャの後は、ハンバーグを食べました。ボリュームたっぷりのお弁当に皆お腹いっぱいになりました。一休みし

た後は権現堂のアスレチックで遊びました。長い滑り台を滑ったり、大きな船の形をした遊具の中で遊びました。帰りの車内では皆疲れてうとうととしていました。

もう1グループのカラオケ組は、グリコの工場見学にも行ってきました。工場見学は初めてだったので、外出前から皆楽しみにしていました。

グリコの工場ではエアーシャワーを体験し、長い冷蔵庫の中を歩きながらアイスの出来る工程を見学。見学の後にはパピコの匂いのするミストを浴び、その工場でしか味わえない味のパピコを皆で堪能しました。

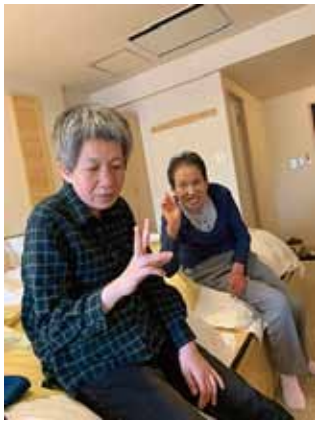
アイスを堪能した後はお待ちかねのカラオケに行きました。カラオケでは流行りの曲や男性アイドル・女性アイドルの曲、懐かしいアニメの曲を皆で歌いました。中には安室奈美恵の『Hero』で87点をとり、限定のクリアファイルをゲットする方もいました。皆好きな歌を時間いっぱい歌い笑顔でした。

皆1日笑顔で楽しい素敵な思い出になったようで、職員として嬉しい外出でした。



旅行いろいろ

4/18～19 (大洗)



4月18日、19日に1泊旅行で大洗水族館に行ってきました。天気は2日も快晴で暖かく、汗をかくような2日間でした。利用者さんは水族館で様々な魚を見ては興奮して喜び、またイルカショーでは感動するパフォーマンスに拍手を送っていました。2日間ともとても楽しめたようで、利用者さんの笑顔を沢山見ることが出来ました。

5/9 (日帰り)



日帰りで、博物館散策にでかけました。博物館到着後は遠足の子供たちが多く、やや興奮気味。外の広場に出ると、車いすから降りて、本人のペースで自由に歩いていました。落ち着いた表情で、のんびりできたのではないのでしょうか。

5/13～14 (那須)

1日目は那須サファリパークに、2日目は南ヶ丘牧場、一泊二日のバス旅行に行ってきました。

1日目の那須サファリパークでは、貸切バスを予約し、運転手さんの解説付きで、動物が放し飼いをされているエリアをゆっくりと1周しました。普段テレビでしか見る事がない、動物達を間近で見ることができ、利用者も職員もとても楽しめました。2日目の南ヶ丘牧場ではBBQを屋内で行いました。肉が柔らかかったので食べやすく、美味しかったです。利用者もとてもいい笑顔で食べていました。

ホテルは、今回高齢な利用者さんが多かったのですが、バリアフリーな設備が整っていて、入浴や食事をととても楽しむことが出来ました。

7/4～5 (横浜)

今回は横浜グルメツアーをしてきました。あいにくの雨でしたが、お腹いっぱい本格中華を食べることができ、皆さん大満足でした。夜には雨も止み、山下公園をお散歩。夜景を見ながらのビールとおつまみは最高でした。

2日目の藤子不二雄ミュージアムではたくさんのキャラクターたちに囲まれ、とても楽しい気持ちになりました。ここでしか見る事の出来ないオリジナルアニメも鑑賞することができ、とても有意義な旅行となりました。

5/20～21 (河口湖)

5月20日～21日に富士の河口湖周辺へ旅行へ行ってきました。富士の芝桜を見たり、郷土料理のほうとうやうどんを食べました。旅館では露天風呂に入り、富士の夕方の景色を楽しみました。二日目は雨が降ってしまい、早く苑に戻ってくる事になってしまいましたが、皆さんの笑顔を見ることができました。





おひさまといっしょに

生活支援員 霜田 侑弥

第45回「おひさまといっしょに」に今年も参加してきました。今年はおすのき苑だけでなく、ワークショップの利用者も参加しました。総勢37名の参加は初めての試みで当日になるまで



緊張していましたが、開催されると皆笑顔でゲームに参加し、会場を盛り上げてくれました。来年度も楽しんでもらえるよう実行委員として頑張っていきたいと思います。



お相撲観戦

主任生活支援員 山田 宗成

大相撲、それは歴史ある日本の国技…。行ってきました大相撲観戦！満員に膨れ上がった会場の熱気は最高潮、自然と声援も大きくなります。土俵にかける情熱、力と力のぶつかり合い、迫力満点で大満足な1日でした。



職員日記

第2支援係長 伊藤 雅章



実は皆さんが気付いていない、あるいは気にも留めていない町の中に、ひっそりとカレー屋さんとは点在しています。1度閉店しても、またいつの間にか名前を変えつつらと外装を変えて営業しています。

中に入ってみると、あまり馴染みのない東南アジア系の店員さんが笑顔で出迎えてくれます。店内には聞いたこともないBGMや現地のミュージカル調のテレビ番組などが流れ、隣で食事を楽しんでいる人たちの言葉も分らず、どこか別の国に来たかのような錯覚さえ感じてしまいます。かと思うとヒマラヤ山脈などの雄大な写真の横に「希望」「大空」などと書かれた習字が飾ってあったり、座席に置かれたメニューに「いらしゃいませー」「セットメニュー」とちょっとだけ間違った書き方を見つけたり、どこかほっこりしてしまう部分も垣間見えます。

料理を頼んでからすぐに「サービスです」とサラダやとても辛い漬物、薄いおせんべいのようなおやつを必ずどの店でも出してくれます。カレーを食べ始めてからも「辛さはどうですか？お水どうですか？」と屈託のない笑顔の店員さんが声を掛けてくれます。何より、込み合っている事が少ないお店が多く、ゆっくりと食事を楽しむことが出来ます。

そんな近くにあるけど遠い存在だったカレー屋さん、ぜひ1度足を運んでみてはいかがでしょうか。普段とは違った雰囲気が楽しめると思います。どんなメニューがあるのかはぜひ、皆さんの目で確かめてください。



新任職員紹介

鈴木 康之

6月より、新任職員として入職しました鈴木です。これから、学びを大切にいい支援に繋がられるように努力していきたく思いますので、よろしくお願い致します。

くすのき苑南門 焼き菓子販売会

食品加工班では、くすのき苑南門にて、毎月第4金曜日に利用者と一緒に販売会を行なっています。近隣の方々に大変好評で、時間内に売り切れてしまうこともたびたびあり、せっかく来ていただいてもあまり残っていないこともあります。利用者ともども頑張っているため、よろしければ是非お越し下さい。



流しそうめん大会

生活支援員 田鍋 智枝

長い梅雨がまもなく明けそうな午後、くすのき苑、毎年恒例の流しそうめん大会を行いました。晴れたり曇ったりの程良い天気で、恰好の流しそうめん日和となりました。皆さん、夢中でそうめんをキャッチして、それは美味しそうに食べていました。



行事報告

- 4月** 法人全体会、お花見、いらっしやいの会
4/27(土)～5/5(金) 春季帰省期間
- 5月** 5/5(金) 帰苑日
1泊旅行、苑内研修
- 6月** 理事会、定時評議会
おひさまといっしょに
- 7月** 1泊旅行、日帰り旅行
サンスマイル

くすのき祭のお知らせ

11月3日(日)

おいしい模擬店と
楽しいステージ!
お待ちしております!!

あとがき

東葛北部地区の連絡協議会に参加している。他施設との情報交換の中で支援のヒントを見つけることが出来る。支援者同士の意見交換、人との出会いを大切にしたい。

(内山)

9月14日にくすのき苑が参加するバレーボールの地区大会に向けて、日々練習中。日頃の運動不足がたたり全身が筋肉痛でぼろぼろですが、今年は勝ちたい!

(清宮)

いちいの会だより VOL.51

- 発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑
〒270-0222 野田市木間ヶ瀬3 1 2 1
TEL: 04-7120-6667
FAX: 04-7120-6668
- 発行人 総合施設長 清本 健二郎
- 編集 広報委員会 内山・清宮・中嶋
- 発行日 令和元年8月吉日
- E-mail kusunokien@nifty.com
- H P <http://www.ichiinokai.com/>